

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	水戸街道の通る市街地に残る貴重な里山「関さんの森」を訪ねる		
開催日時	2021年11月27日(土) 10時 ~ 12時30分		
開催場所	松戸市(幸谷・小金地区)	一般参加者	25名

活動概要

高度経済成長期以降各地で都市化が急激に進行し、近郊に広がっていた里山は宅地や工場用地などに変貌していきました。松戸市も例外ではなく、この半世紀で森林面積は8分の1に減ってしまいました。その中で「関さんの森」は、後世に里山風景を残そうとする関家の皆さんや、それに共感する多くの市民ボランティアの努力によって守られてきた貴重な森です。

先代武夫氏が亡くなったあと、相続による危機を自然保護団体への寄付により回避したこと、道路敷設計画による行政との対立は全国に報道され、社会的に自然保護の機運を高めるきっかけにもなったことなど、現当主の関美智子さんから直接お話を伺うことができました。

その後、関家の屋敷林であった「関さんの森」、そこから15分ほどの場所にある関家所有の「溜ノ上の森」を訪ね、都市部に残る森の現状や森が抱える問題などについて、みんなで考える機会となりました。



関美智子さんのお話をお聴きしました



”溜ノ上の森”でひと休み



ケンボナシの観察



ヒイラギの花が満開です



珍しい”連理の枝”？

F I C 講師 金井康郎・黒岩晶・瀧上和宏